

News Release

報道関係各位

2014年3月25日
ダイビル株式会社

「ダイビル本館、中之島四季の丘」

『CASBEE 大阪 OF THE YEAR 2013』最優秀賞 受賞

2013年2月に竣工した「ダイビル本館、中之島四季の丘」が、「CASBEE 大阪 OF THE YEAR 2013」最優秀賞を受賞しました。「中之島四季の丘」はダイビル株式会社と関電不動産株式会社が共同で整備したものです。

「CASBEE 大阪 OF THE YEAR」は、CASBEE 大阪みらい（※）において優秀な評価を得た建築物を広く市民に情報発信することにより、快適で環境にやさしい建築物の建設を促進するため、CASBEE 大阪みらいに基づき届け出された民間の建築物のうち、特に評価が高い作品を竣工年ごとに表彰するものです。審査・選考した大阪市建築物環境配慮推進委員会のコメントは以下のとおりです。

熱意と様々な技術・工夫により、大正時代の旧ビルの意匠を再現し、中之島の歴史的景観の継承をしながら、河川水利用地域冷暖房システム・自然採光・自動調光などの先進的な省エネ・環境配慮の取組を行っている。建築主の企業のアイデンティティとしての外観保全という強い想いに、最新の建築と設備の技術がうまく適合している点と、その姿勢が他の規範となりうる点を高く評価し、今年度の最優秀賞に相応しいと判断した。

ダイビルは今後も、環境負荷の低減に配慮した開発に取組み、都市と自然が調和した環境との共生ができる優しいまちづくりに努めてまいります。

■ダイビル本館 建築概要

所在地：大阪市北区中之島3丁目6番32号
用途：事務所・店舗・駐車場
規模：地上22階・地下2階・塔屋2階
構造：鉄骨造（一部鉄骨鉄筋コンクリート造、
鉄筋コンクリート造）
延床面積：48,198 m²（14,580 坪）
最高高さ：108m
設計監理：(株)日建設計
施工：(株)大林組
竣工：2013年2月末



News Release



堂島川からダイビル本館を望む



中之島四季の丘

■「ダイビル本館」における環境性能

1. 中之島の南北を流れる堂島川・土佐堀川の河川水を有効活用した地域冷暖房システムを採用しており、通常の空調方式に比べ CO2 排出量を大幅に削減しています。このシステムは、大気中に排熱しない空調方式であるため、ヒートアイランド対策にも貢献しています。
2. ガラスは高遮熱の Low-e 複層ガラスを採用し、日射遮蔽ルーバーと合わせ開放的な眺望と省エネルギーの両立を図ります。また、西面にはエアフローウィンドウを採用しています。
3. 効率的に外気を室内に取り入れる自然換気システムや、雨水を貯留し再利用する灌水設備の導入、低層部の屋上緑化など環境に配慮し、CASBEE 大阪（大阪市建築物総合環境評価制度）で最高ランクの「S」を取得しました。

■「中之島四季の丘」の特色

1. 四季折々の自然を感じられるよう、「中之島 四季の丘」にはウメ・サクラ・ヤマボウシ・モミジなど多様な樹木や地被類を植えています。地盤を丘陵状とし、樹木の足元を地被類で覆うことで、緑地として一体感のある計画としました。
2. また、丘には煉瓦敷きの遊歩道を設けており、頂上部まで散策することも可能です。丘の頂上部は、「ダイビル本館」「関電ビルディング」へ繋がるデッキおよび堂島川の遊歩道へ繋がる歩行者用ブリッジに接続しており、将来は大阪市による近代美術館の整備が計画されている中之島4丁目とも歩行者用ブリッジで繋がる予定です。これにより、中之島地域の回遊性が増すとともに、歩車分離が図られ、歩行者の安全性の向上にも寄与します。

(※)CASBEE 大阪みらい(大阪市建築物総合環境評価制度・平成 22 年度までの名称は CASBEE 大阪)

建築主の環境に対する自主的な取組みを促進し、快適で環境に配慮した建築物の誘導を図ることを目的としている。具体的には、建築物の新築及び改修等の際に、建築主が、大阪市が定めた基準に基づいて建築物について総合的な環境評価を行い、その結果を記載した計画書を大阪市へ届出するとともに、大阪市がホームページでその計画概要等を広く市民に公表するもの。

【お問合せ先】ダイビル株式会社 広報室 (担当：鈴木) TEL：06-7506-9516

以上